

千葉市地域経済活性化戦略の概要

I 狙い

企業が成長し！新たな企業が集い！
起業家精神にあふれる人材が育つ！千葉市の実現

本戦略は、現在の経済情勢を鑑み、中小企業の経営環境に対する支援は継続しつつ、本市の強みを最大限活かすため、多様な主体を引き込み、相互の連携によるスパイラルアップを起こすことで、「企業が成長し、新たな企業が集い、起業家精神にあふれる人材が育つ、千葉市」の実現を目指すことを狙いとしています。

これにより、市内で活動する事業者がそれぞれの力を発揮して活躍するとともに、事業者、起業家など幅広い主体が自然と集まりたくなるような、強力な磁力を持つ産業都市として、千葉市独自のビジネス文化を育てていきます。

II 基本戦略の考え方（裏面体系図参照）

『経済環境の変化に柔軟に対応できる産業界の企画力とチャレンジ精神を支援』

本戦略の狙いを達成するため、世界同時不況から引き続く長期の景気低迷の中、先の見えない経営環境や今後直面する定常型社会における価値観の変化、世界的な経済の枠組みの変化といった、企業を取り巻く経済環境の変化に柔軟に対応できる企画力とチャレンジ精神を育て、住みやすい社会の創造に貢献する産業を育成します。

III 計画期間

平成 24 年度～33 年度
（ただし戦略の見直しは 5 年ごとに行う）

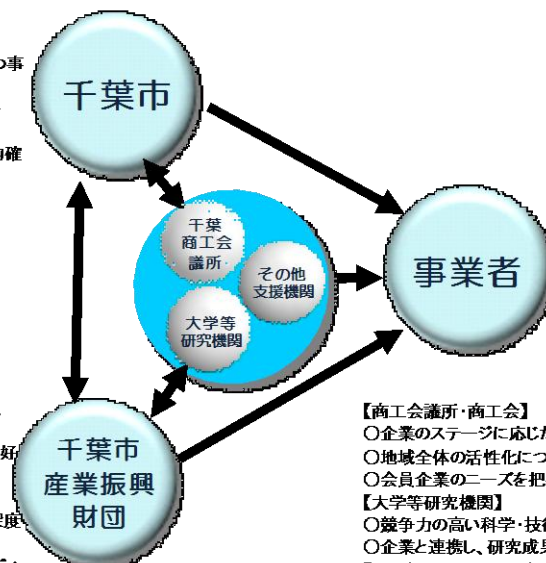
IV 推進体制

【千葉市】

- 国や県等の動向など最新の情報収集
- 効果的かつ効率的に千葉市らしい企画を立案かつ事業化するための積極的な体制作り
- 重点戦略の推進主体による事業展開へのコーディネート力を発揮し、これを強力に支援すること
- 各主体との意見交換を積極的に行い、柔軟かつ的確な施策を遂行すること

【千葉市産業振興財団】

- 全国の産業施策の成功事例を研究することによる、知見やノウハウの蓄積
- 企業・大学等研究機関などと組織的かつ人的な良好なネットワークの構築、強化
- 市の施策との緊密な連携
- 消費者の生活ニーズを幅広く、継続的に把握し、深度化を図ること
- 幅広い経験に富んだ専門職員の配置により、コーディネート力の機能を強化



【商工会議所・商工会】

- 企業のステージに応じた幅広い支援施策を行うこと
- 地域全体の活性化につながる事業の継続的な実施
- 会員企業のニーズを把握し、市の施策に対する提言を行うこと

【大学等研究機関】

- 競争力の高い科学・技術を生み出すこと
- 企業と連携し、研究成果の事業化による地域への還元

【金融機関や他の支援機関】

- 産業振興財団のプラットフォームの活用や個別の協定締結など

■ 体系図 ■

千葉市地域経済活性化戦略

「企業が成長し、新たな企業が集い、起業家精神にあふれる人材が育つ千葉市の実現」

基本戦略 経済環境の変化に柔軟に対応できる産業界の企画力とチャレンジ精神を支援

基本戦略Ⅰ 新事業・新産業の創出

Ⅰ-1 起業家育成、新事業の創出

- 市内の産業支援機関との連携強化
- 創業セミナー開催
- インキュベーション施設の機能拡充
- 若手起業家への創業支援の強化
- 起業支援ネットワークの構築
- 優秀なビジネスプランの誘引
- 新事業創出に向けた資金調達支援
- 有望なベンチャー企業の販路開拓支援

Ⅰ-2 企業誘致と国際競争力の強化

- 国内外の企業誘致の推進と環境づくり
- 海外市場の開拓支援
- 将来の企業進出ニーズへの対応
- 知的財産の保護・活用の促進
- 海外進出を狙った人材確保
- 海外進出への意欲の喚起

基本戦略Ⅱ 経営革新と産業人材の育成

Ⅱ-1 成長を促す経営革新への支援強化

- 異分野・異業種交流の機会
- 地域に根差したミニコンソーシアムの形成
- 産学官連携の促進
- 新商品・新サービスの開発、販路開拓支援
- 資金調達支援

Ⅱ-2 経営安定支援の強化

- 経営の安定化に向けた資金調達支援、
- 事業再生支援、
- 従業員の福利厚生の実施
- 零細企業への経営支援

Ⅱ-3 産業を牽引する人材育成

- 経営者のマネジメント能力の向上支援
- 技術系人材の育成
- 高度化人材の育成
- 次世代を担う起業家人材の育成
- 若年者の職業観醸成

基本戦略Ⅲ 地域商業・サービス産業の振興

Ⅲ-1 地域商業の活性化

- 中心市街地の商業機能の強化
- 繁盛店を目指す事業者への支援
- 県内観光地の見本市
- 観光と連携した商業活動への支援

Ⅲ-2 定常型社会の公共をビジネスで支える

- 市内企業・大学との連携強化
- 企業のCSR活動の支援及び連携の促進
- 社会貢献型の商業活動に対する支援強化
- コミュニティビジネスの普及・促進の強化